

FIDIC NEWS (November 2007) 抄訳

訳責：国際活動委員会 IFI 分科会

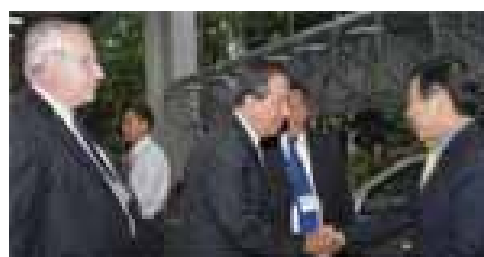
A. 活動 (Activities)

A.1 Singapore success

- シンガポール大会成功

FIDIC2007 年シンガポール大会は過去最大の 69 カ国からの参加者を迎えた。基調講演は、アジア開発銀行、二国間資金供与機関である JBIC (国際協力銀行)、主要なコントラクターである Leighton Asia およびコンサルタントの Maunsell-AECOM から聴くことができた。この基調講演から、彼らの関係、特にインフラストラクチャーへの投資決定を左右する建設業界内の関係が変化していることを知ることが出来た。大会開催前夜、シンガポールコンサルティングエンジニア協会 (ACES) 主催による盛大な歓迎会が、Asian Civilisations Museum において執り行われた。大会は、Mah Bow Tan シンガポール国家開発大臣の挨拶で幕を開けた。

右上の写真は Mah Bow Tan 大臣が当時 FIDIC 会長であった Jorge Diaz Padilla から大会へ歓迎されているところで、写真左は新 FIDIC 会長の John Boyd である。大会議長の Lim Pheng Hong (右下の写真) により紹介された Mah Bow Tan 大臣は、グローバル化や現代経済の発展における国家間の関係について語った。Mah Bow Tan 大臣は、最善の手法を選択して利益を導くリーダーであるコンサルティングエンジニアが果たしている主な役割について強調した。プロジェクトがより大きく、そしていっそう複雑になるにつれて、協働のための新しいモデルが実施されている。プロジェクトチーム内での役割も変わってきている。また、高品質なプロジェクトに求められる挑戦的な要求事項を満たすための革新的なアイデアを見出すためにパートナーリングが行われ、新たな機会が生み出されてきている。



大会 2 日目には、15 カ国からの 37 名にも及ぶ講演者が、慎重に選ばれたトピックについて 9 つの対話型のワークショップで講演し、豊富な視野と経験を共有することができた。プレゼンテーション資料は、大会ウェブサイト (www.fidic2007.org) から入手可能である。大会 3 日目のハイライトは、2007 年 FIDIC 若手専門職管理者研修 (YPMTP) 参加者によるすばらしいプレゼンテーションであった (<http://www1.fidic.org/news/>)。他のハイライトとしては、持続可能性の実務への適用について紹介した一連のセミナーと汚職行為に対抗する FIDIC のコミットメントであった。前者はプロジェクト持続可能性管理ガイドライン (<http://www1.fidic.org/resources/sustainability/>)、後者はビジネス公正管理システム (<http://www1.fidic.org/resources/integrity/>) を用いたものである。ケーススタディでは、サービスの質を向上させ、また利害関係者の関心を取り付けるための FIDIC のツールの実務的な適用例を紹介した。コンサルタント業界の今後の方向性に役立つミーティングやワークショップの忙しいスケジュールの合間に開催された多数のソーシャルプログラムは、参加者や彼らのパートナーを楽しませた。その中では FIDIC 2008 ケベック大会 (9 月 9-11 開催予定 <http://www.fidic2008.org/>) で取り上げる予定のトピックについても紹介された。

A.2 Executive proposed three new national members

- 理事会 3 カ国の新規入会を承認

理事会は、広範囲にわたり戦略上の問題や管理上の問題に再度取り組み、FIDIC 設計、施工、運営 (DBO) 方式契約約款 (<http://www1.fidic.org/news/>) セミナー版の出版を承認した。2008 年内に正規の初版が出版される前に、各委員会にフィードバックを求める。また、委員会間での連携を強化するため、実務指針研修マニュアル (Guide to Practice Training Manual) に注目し、様々な委員会へ研修モジュール (<http://www1.fidic.org/news/>) の更新を求めている。例えば、マニュアルに責任を持つ能力開発委員会は、コンサルティング分野が未成熟の国々での業界の発展よりもむしろ、国際的なベストプラクティスの普及に継続的な努力を傾けている。また、FIDIC の発注者 / コンサルタント間標準役務契約条件書に従って仲裁人の任命をしやすくするために、FIDIC 調停人リストを復活することが合意された。一方、各 MA によって組織された紛争委員会の裁定人リストは間接的に継続支援されるが、FIDIC の主眼は、紛争裁定人リスト (<http://www1.fidic.org/resources/adjudicators/default.asp>) が FIDIC 会長の名前で指定されることの継続維持にある。持続可能な開発に関して、戦略グループは「他の業界がより大きな役割を演じる傾向にあるプロジェクト持続性に関連した分野の主導権とリスクをコンサルティングエンジニアが取るために、その役割の強化に対して FIDIC がいかに支援することができるか」についてのレポートを求められる。

定款の改定、会費、財源及び代表性等の組織運営に影響するような決定については、大会期間中に開催される各 MA 会長および事務局長会議や総会において報告された (<http://www1.fidic.org/news/>)。写真は、今回退任する FIDIC 会長の Jorge Diaz Padilla (写真右) が、今総会で MA として承認されたヨルダン建築・コンサルティングエンジニア評議会を代表してヨルダンエンジニア協会の会長 Wael Saqqa から楯を贈られているところである。



A.3 Meetings made a vital contribution to the annual conference

- 各種会議 年次大会の成功に貢献

FIDIC 2007 年シンガポール大会のプログラムと平行して、一連の重要な活動である FIDIC の 9 つすべての委員会と次回以降の FIDIC 大会に取り組む委員会の会議が行われた。日本の国際協力銀行 (JBIC) の代表との会議も行われた。JBIC は特に標準契約約款に関連して、より緊密な協力を求めている。多国間開発銀行の代表との会議も行われた。そこでは主に 2007 年 5 月にワシントンで開催された BIMILACI 会議の結果についてのレビューが行われた。CE 業界や資金援助機関の両方に影響を及ぼす重要な問題が数多くあるので、この会議は 2 年毎ではなく毎年行う価値があると指摘された。

A.4 FIDIC's 79th association voted at 2007 General Assembly

- 2007 年度総会で FIDIC79 番目の会員協会を承認

FIDIC 2007 年シンガポール大会開催時に行われた 2007 年度総会で、2007 年から 2009 年の期間の FIDIC 会長に John Boyd 博士が、副会長にアメリカの Gregs Thompoulos が選出された。Boyd 博士は就任演説 (www.fidic2007.org) において、CE はクライアントにとっての信頼できるアドバイザーであるだけでなく、社会に対しても信頼できるアドバイザーである必要があると強調した。これは彼の母国カナダで次年度開催される FIDIC 2008 ケベック大会で取り上げられる「社会の中における CE 業界の役割に関

する一つのテーマ」である。Boyd 博士はカナダのゴルダークアソシエイツ社の上級役員で、トロントに近い場所にある本社を活動拠点にしている。Boyd 博士は最近ゴルダーク社内および社外でのビジネスと経営研修、特に持続的開発に関する研修に注力している。彼の最新のポジションは事業担当の副社長であった。

総会では退任する理事 Bayo Adeola (ナイジェリア)、Jorge Diaz Padilla (メキシコ)、Maxime Mazloun (フランス) から引き継いで新しく Patrick Batumbya (ウガンダ、写真左)、Pablo Bueno Tomas (スペイン) および Adam Thornton (ニュージーランド、写真右) を理事会メンバーに選出した (経歴書 <http://www1.fidic.org/about/comm/ec/>)。



また Knowles (イギリス) を協賛会員として承認した。FIDIC 2011 大会開催地をチュニスとして承認した。

以下の 4 協会を MA として満場一致で承認した。

- 1) マラウィコンサルティングエンジニア協会 (ACEM)
- 2) ヨルダン建築・コンサルティングエンジニア評議会 (JACEC)
- 3) カザフスタンコンサルティングエンジニア協会 (KACE)
- 4) ロシアコンサルティングエンジニア協会 (RACE),

これで FIDIC の MA は 79 協会になった。

出納局長 Maxime Mazloun は、記録的な書籍売上高、イベントと著作権からの大きな新しい収入、会費の良好な回収率、FIDIC 2006 ブタペスト大会からの余剰金について報告した。この報告によって総会は、理事会の「会費単価の値上げをしない」という提案を承認した。Maxime Mazloun は今回退任し、Flemming Bligaard Pedersen (デンマーク) が後任の FIDIC 出納局長に就任している。総会は FIDIC 定款と付随定款を改定することを承認した。これは維持会員と協賛会員を一体化し、賛助会員を新しい準会員として会員資格区分の簡素化を図るものである。最後に、委員会業務へのボランティア活動による著しい貢献への感謝の印として Axel Jaeger (ドイツ、写真右) と Tonny Jensen (デンマーク、写真左) に、FIDIC 唯一の賞である盾が贈られた。両者はそれぞれ FIDIC 契約約款と品質管理関連文書の起草と普及への貢献を認められたものである (表彰状 http://www1.fidic.org/conference/2007/agendas/prangey07_citations.pdf)



B. 行事 (Events)

B.1 Forthcoming meetings and events

- 行事予定

2007 年 12 月 3~4 日 : FIDIC - コーナーストーン社 契約約款ワークショップ [Workshop](#) ; ワルシャワ

2007 年 12 月 6~7 日 : FIDIC 契約約款ユーザーズ会議 [Conference](#) ; ロンドン

2007 年 12 月 8~9 日 : FIDIC - ヨルダン 事業開発研修コース [Course](#) ; アンマン

2007 年 12 月 10~11 日 : FIDIC - ヨルダン 財務マネジメント研修コース [Course](#) ; アンマン

2008 年 1 月 21~22 日 : FIDIC - ECV* 契約約款 (モジュール 1) 研修コース [Course](#) ; ドバイ

2008 年 1 月 24～25 日：FIDIC - 国際商業会議所 契約約款と紛争解決会議 [Conference](#)；モナコ
2008 年 1 月 30 日：FIDIC - スペイン プロジェクト持続性可能性管理セミナー [Seminar](#)；マドリード
2008 年 2 月 1 日：FIDIC DBO 契約約款説明会 [Briefing Seminar](#)；コペンハーゲン
2008 年 2 月中旬：FIDIC - エジプト 契約約款ユーザーズ会議 [Conference](#)；カイロ
2008 年 3 月 3～4 日：FIDIC-ECV* 契約約款（モジュール 1）研修コース [Course](#)；ブリュッセル

*：FIDIC 研修パートナー会社の一つ

B.2 Young professionals: the future is today

- 若手技術者未来へ

FIDIC2007 年 YPMTP（若手専門職経営研修プログラム）に、世界 20 カ国から 50 人近い熱意ある若手マネージャ達に参加した（写真参照）。このプログラムは 2007 年 FIDIC シンガポール大会（9/9～9/13）の中で開催された研修分科会とヤングリーダーワークショップで完結した（発表資料 <http://www1.fidic.org/conference/2007/talks/wed/leaders/leaders.pdf>）。



（発表資料 <http://www1.fidic.org/conference/2007/talks/wed/leaders/leaders.pdf>）。業界の将来を担うこれらの参加者達からは強い熱意と関心が感じられた。会議を聴衆した年長の同僚は彼ら若手の援助を約束し、また、参加者の 1 人が言った「未来は今日にある」という言葉に示されるように、彼らが近い将来彼らの会社を担っていくことを認識した。FIDIC 会員協会数の増加と各会員協会の会員企業数の増加は、世界的な視野を持って地域で活動する将来のリーダー達を後押ししている。2008 年の 2 月初旬に始まる 2008 年プログラムへの登録受付期間は 2007 年 12 月 31 日までである。発展途上国からの参加者へ FIDIC2008 年ケベック大会の登録料金と参加費をまかなう奨学金が準備されている。（<http://ypf.fidic.ch/training/Pages/default.aspx>）

C. 契約約款 (Contracts)

C.1 DBO contract launched

- DBO 契約約款発表

FIDIC2007 年シンガポール大会直後に開催された特別セミナーには約 100 名が参加し、そこで待望の FIDIC DBO 契約約款が発表された（<http://www1.fidic.org/resources/contracts/dbo/>）この契約約款の主たる起草者であり、当セミナーの主たる講師でもある Axel Jaeger と Michael Mortimer-Hawkins との間でやりとりされた活発な議論が、この新しく革新的な契約約款への強い需要を物語っていた。専門部会の大変な尽力と、FIDIC 契約約款委員会による監修、FIDIC 理事会及び事務局の強力な支援、そして各国のレビューチームの惜しみない協力により、特別セミナー版を FIDIC 年次大会開催に合わせて発行することができた。



このセミナー版は、通常の印刷物および電子データで FIDIC 書籍販売部から入手することができる（<http://www1.fidic.org/bookshop/>）。第 2 回説明会が 2007 年 10 月 11 日にロンドンにおいて開催され、また第 3 回はコペンハーゲンにて開催が予定されている。この間には、FIDIC 契約約款ユーザーズ会議が開催される（2007 年 12 月 6-7 日 ロンドン）。この会議は FIDIC が提供する全ての種類の契約約款に関連する最近の事例を再検討する、FIDIC の主要な活動基盤の 1 つである。これらの会議・セミナーから得

られる情報は、2008 年中の DBO 契約約款正規初版刊行前に必要となる修正事項を提案するに先立って専門部会が実施する実務サイドからのフィードバックの分析に貢献することになるであろう。

D. 協会活動 (Representation)

今回この項目の記事はない。

E. ビジネス実務 (Business practice)

E.1 Guide to Practice Training Manual update

- 『FIDIC 実務ガイド トレーニングマニュアル』改訂

前回の会合において FIDIC 能力開発委員会は「FIDIC 実務ガイド トレーニングマニュアル - 専門サービス企業のビジネス - 」を改定することを決めた。モジュールはそれぞれがコンサルティングエンジニアリング実務の特定の領域をカバーしており、マニュアルはベストプラクティスの基本的な知見を示すことを目的としている。発展途上国における企業と先進国企業の新卒職員の研修を第一のターゲットとしている。それぞれのモジュールは若干の演習を伴っており、網羅的ではなく、参考資料を含んでいる。研修コースは 1 セッション 2 時間で、一般には 3 セッション以上は必要ない。各モジュールは、コース内容の範囲としてこれらのモジュールを使う FIDIC が提供する別のトピックに関する 1~3 日の研修コースとも競合しないし、それに代わるものでもない。これらのモジュールに含まれるトピックの多くは FIDIC の各委員会が作成した既存の資料によるため、能力開発委員会は「既存のモジュールの見直しと改定および新しいモジュールの導入を関係する各委員会が行うように要請し、一部のモジュールについては能力委員会が改定する」方法が、最も良いと考えている。Bayo Adeola 能力開発委員会委員長は各委員会委員長に対して支援を要請した。作業は FIDIC2008 年ケベック大会 (<http://www1.fidic.org/conference/2008/>) までに完了する計画となっている。



F. 事業展開 (Business development)

F.1 World Bank to pursue country systems mandate

- 世界銀行調達システムを見直し

世界銀行は、借入国内の調達管理能力を評価する新たなプログラムの実施を目指している。これは、借入国の発展に向けた世界銀行の（同様に、大多数の多国間開発銀行の）長期的な政策の一である。多くの利害関係者や FIDIC などの組織から過去 2 年間に指摘された問題点に対する取り組みに多大な努力が注がれた。FIDIC は、各国のシステムの利用に関する世界銀行の最新の提案を評価した。これによる CE 業界への直接的な影響は少ないが、試行事業で選定された国々における拡大された調達に影響を及ぼす可能性が考えられる。途上国における調達方法に関する試行プログラム (the Methodology for Procurement Country Systems Piloting Programme) の詳細については世界銀行ウェブサイト (<http://www.worldbank.org>) 内の "Consultations and Discussions" から閲覧可能であり、意見は 11 月中旬までに寄せるように要請されている。

2007 年 10 月にパリで開催された FIDIC と多国間開発銀行との会議での熱のこもった議論と特別な世界銀行の講演は、FIDIC の関心事項がどのように扱われてきたかを示している。【写真は John Boyd FIDIC

会長と各銀行の調達責任者、左から Ahmed Benbarka(アフリカ開発銀行(AfDB))、Dilek Macit(欧州復興開発銀行(EBRD))、Sabine Engelhard(米州開発銀行(IADB))、Patricia Baqueroと Bernard Becq(世界銀行(WB))、Ignatius Santoso(アジア開発銀行(ADB))】この詳細は、試行プログラムに参加する借入国を評価するために用いられる選定基準の中に提示されており、よく知られている“*OECD-DAC 各国調達システムの評価手法 (Methodology for Assessment of National Procurement Systems)*”から派生したものである。



これは、オンライン上に PDF で公開され (<http://www.oecd.org/dataoecd/1/36/37130136.pdf>)、多くの国で使用されている。資格のある国のみが参加できること、その国の調達システムが十分に健全なものであることを確認するために、確認と調整を組み合わせたシステムになっている。

FIDIC により提議された特定の問題については融資機関との間で開かれた 2007 年 BIMILACI 会議で議論された (<http://www1.fidic.org/resources/bimilaci/default.asp>)。融資機関にとって関連があり、また非常に重要な課題は、途上国自身による調達実施に必要な能力または技術をまだ持っていない国々の能力開発ニーズに対して、如何に最善の取り組みを行っていくかということである。これについては、FIDIC も興味を持っている分野であり、能力開発イニシアチブを推進し、またいくつかの実務用のツール (ビジネス公正管理システム、政府機関用バージョンである政府調達公正管理システム (GPIM) (<http://www1.fidic.org/news/>))、およびプロジェクト持続可能性管理システム) の開発・普及を行っている。新しいプログラムが実施される前に、銀行融資事業において各国の調達システムを用いることによる問題点を徹底的に検討することを目的としたワークショップが、2008 年に計画されている。

G. 倫理 (Ethics)

G.1 UN corporate citizenship summit makes history

- 国連企業市民活動サミットが歴史を刻む

2 回目の国連グローバルコンパクトリーダーズサミット(2007 年 7 月 5-6 日)がジュネーブの国連本部で開催された。このイベントには、1000 名以上の最高経営責任者、政府大臣、市民社会および労働組織の代表らが参加し、企業市民というトピックで国連によって召集されたイベントの中では、これまでで最大のものとなった。国連事務総長の潘基文は共同議長として、「参加者が協働して独自の領域を造る」ことを強く勧めた。その目的は、ビジネスを行う過程を通じて、また民間部門が政府調達に介入することを通じて最も大きいインパクトを与えることができる汚職に対する戦いを一緒に行うことにあった。FIDIC は、招待されたわずかな同業種グループの一員として、調達に関する見解、および構造的汚職が意義ある改革に与える問題点を共有した。FIDIC によって提案された政府調達公正管理システム (GPIMS) (<http://www1.fidic.org/news/>) が、汚職行為についての理解に欠けている政府職員にとっての不可欠なツールとして、また改善されたインフラストラクチャーによるサービスを必要とする人々への影響について紹介された。出席者は官民双方の具体的行動を明記した宣言(PDF をオンラインで入手可能)を採択した。

G.2 FIDIC collaborates on anticorruption programmes

- FIDIC 反汚職プログラムで連携

国際建設業連盟(CICA)と現在行われている議論が不正に関する共同声明として包括的な合意に達した。

CE および建設業者は社会における汚職の弊害とその否定的影響を認めており、世界のリーダーと調達当局者はさらに多くのことができるし、また、すべきであると信じている。調達当局者は汚職の根本的原因を直視する必要がある一方、より積極的な方法で産業界と協力する重要性を理解する必要がある。その理解の中には、「調達における不正」に取り組み、不正を軽減するように設計されたツールの開発も含め、これまでの産業界の成果とイニシアチブを認識することが含まれるべきである。

G.3 Industry anticorruption initiatives extended

- 産業界の反汚職イニシアチブ広がる

FIDIC は P E 協会を代表する世界技術者連盟 (WFE0) と汚職防止活動を促進するイニシアチブについて議論している。覚書草案では、PE には官民のセクターに拘らず公正に行動するプロの義務があることを認めている。FIDIC はさらに、「公正に行動することには立派な商業的な価値がある」と強調することによって、より熱心に説明を行っている。この価値は特に専門的なサービスを調達するとき、また高品質で持続可能なプロジェクトを推進するときに顕著になる。国際建設業連盟 (CICA) (<http://www1.fidic.org/news/>参照) WFE0、および同様の組織との将来の推進事業では、資金提供機関との協働とツールの普及、研修、能力開発の実施を含むものと予想されている。

FIDIC 常務理事 Enrico Vink は 2007 年 11 月、トランスペアレンシーインターナショナルの贈収賄に対処するための業務原則に責任のある運営委員会に出席した。現在、中小企業のためのバージョンが完成しており、修正された解説書が準備されつつある(完全なガイドはオンラインで入手可能)。両者に対し、FIDIC の公正管理に基づいた汚職防止推進事業を強化するために、FIDIC による何らかの形の後押しが検討されている。

H. イメージ (Image)

H.1 African Development Bank procurement proposals

- アフリカ開発銀行 調達手続き改定を提案

2007 年 7 月に、アフリカ開発銀行 (AfDB) はコンサルタント調達手続きの改訂版草案に対するコメントを求めた (<http://www1.fidic.org/news/>)。提案された手続きの多くは世界銀行や他の主要な開発銀行の手続きと同一であり、調達手順の整合を継続的に取り続けようとするアフリカ開発銀行の決定に対して FIDIC は 2007 年 8 月提出のコメントにおいて賞賛した。年間 80 億米ドルに及ぶアフリカへの投資に対する責任から、アフリカ開発銀行は物品とサービスの供給を促進するために、より密接に他の開発銀行と協調することの価値を認めた形である。2000 年版と最新草案の FIDIC による比較結果は、その特徴的な変更点に関する FIDIC GAMA アフリカ協会連合およびそのほかからのコメントとともに、オンラインによる PDF の利用が可能である。

以上